



## 令和4年10月6日(木)、27日(木)イオン八事ショッピングセンターでのEプロ活動「名城大学薬学生と一緒に学ぼう!くすり実験教室」 (共催:特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO))

名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生に「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を、特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(NPO J-DO)の協力の下に行っています。令和3年度から、新型コロナウイルス感染症の影響で中止されました出前講義や名城大学 Enjoy Learning プロジェクト(通称:Eプロ)の活動が再開されました。今年度、初めてのEプロの活動として、「くすり実験教室」を2回開催しました。

イオン薬局八事店薬局長の山本真一郎先生のご尽力により、令和4年10月6日(木)、27日(木)イオン八事ショッピングセンター(4階 G.G イベントコーナー)にて「名城大学薬学生と一緒に学ぼう!くすり実験教室」を下記の内容にて開催しました。延べ39名(6日:20名、27日:19名)が来場し、「くすりの適正使用」について学びました。多くの来場者から「楽しく実験出来た」、「薬の飲み方を変えようと思った」と感想を頂きました。日常の薬に関する疑問や服用薬については、教員の先生方が丁寧に対応されていました。

### イオン八事ショッピングセンターにおける「くすり実験教室」

日時:令和4年10月6日(木)、27日(木)11時00分-15時00分

場所:イオン八事ショッピングセンター(4階 G.G イベントコーナー)

内容:

#### ・「体験実験」

コーナーを4テーブル設置し、5つの実験を体験できるブースを用意しました。Eプロの薬学生(5年生5名)は、実験目的の説明などを行いました。来場者からの質問については、鍋島俊隆先生(NPO J-DO 理事長)、名城大学薬学部 野田幸裕教授(NPO J-DO 副理事長)、間宮隆吉准教授(NPO J-DO 理事)が対応されました。

#### <実験項目>

①薬の溶ける工夫(飲みやすさ)

②薬と飲食物との関係(相互作用)

実験1:コップ一杯の水かぬるま湯で「くすり」を飲むのはなぜ?

実験2:水がなくても飲める「くすり」があるのを知ってる?

実験3:シロップの「くすり」と「お茶」を一緒に飲むとどうになってしまうの?

実験4:「うがいぐすり」でうがいをした後に、

すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの?

実験5:オレンジジュースで胃痛を和らげる「くすり」を飲むと

どうになってしまうの?

制作:Eプロ(名城大学薬学部病態解析学I:吉原希、加納正暉、野田幸裕、薬品作用学(間宮隆吉))  
監修:NPO J-DO

